

1 単元の目標 (生活科 内容(5)「季節の変化と生活」内容(6)「自然や物を使った遊び」)

秋の自然を観察したり、身近にある物で遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったりして、身近な自然の様子や変化、それを使った遊びの面白さや不思議さに気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①身近な自然の植物や生き物の様子や特徴を見付け、季節の移り変わりに気付いている。 ②秋の自然や物は、いろいろな遊びに利用できることや、遊びを工夫したり遊びを創り出したる面白さに気付いている。 ③みんなが楽しく遊べるように、遊び方やルールを工夫することや、分かりやすく伝えるために工夫が必要であることに気付いている。	①諸感覚を生かして、校庭や公園、多摩川などの自然に関わり、季節の変化や特徴を見付け、それらを利用した遊びを考えている。 ②楽しみたい秋の遊びを思い描きながら、比べたり、試したり、見立てたりして、秋の自然物を使った遊びや遊びに使う物を工夫して作っている。 ③遊びを工夫したり、友達と楽しく遊んだりしたことを振り返り、書いたり話したりして表現している。	①秋の植物や生き物に関心をもち、身近な自然の様子の変化を探そうとしている。 ②季節による変化や特徴について発見したことや感じたことを友達に伝えようとしたり、友達のよさを取り入れたりして、秋の遊びを楽しそうとしている。 ③みんなで遊ぶと生活が楽しくなることを実感し、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

3 東京大会主題「新たな価値の創造 ～深い学びの実現を目指して～」に関する視点

(1) 単元設定の趣旨

春夏と秋の変化に気付きやすくするために、児童にとって身近な校庭や多摩川の自然に絞って秋探しをすることにした。また、自然物を使って工夫して遊んだり、遊びに使うものを作ったりする活動では、児童が集めやすく、加工がしやすく、様々な種類があるものとして、どんぐりと落ち葉に絞った。自然物を絞ること、児童の思いを達成できるように種類を用意しておくことで、児童が試行錯誤できると考える。また、同じ素材を使うことで、友達のよさや自分との違いを比較でき、気付きが深まりやすいと考えた。

(2) 気付きの質を高めるための環境設定

児童の気付きを高めるためには、秋探しに出掛ける前に季節ごとの様子を比較できる写真の提示をする。その後探検の中で本物の季節の変化に気付くようにする。さらに木の実や落ち葉を使って様々な遊びができる場や関連する本を設置して、多様な思考を促せるようにする。また、比べたり、試したりする等、試行錯誤できるよう素材や材料、道具、場所などの環境を整える。遊びを通した友達との関わりをもたせる場を設け、友達のよさを取り入れたり、自分との違いに気付いたりして、遊びを発展させられるようにする。

(3) 他教科等における見方・考え方との関連

どんぐりの数を数えたり、観察したりすることは、10のまとまりをつかって数える、大きさや長さを比べる等、算数科の見方・考え方を働かせることになる。また、図画工作科で形をうつしとることで、自然物の特徴や違いをじっくり観察することができ、それらを生活科の学習に生かすことができる。さらに、身近な自然物を使うことで、生き物や自然を大切にすること、道徳的価値を育てることができることも考えた。

4 単元の指導計画 (全15時間 本時 1組:第6時 2組:第7時 3組:第8時)

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点 ()関連教科
1	【あきはどんなきせつかな?】 ○身の回りで感じられる季節の変化について気付いたことを発表し合う。 ・落ち葉 ・どんぐり ・まつぼっくり ・栗 ・すずしい ・バッタ ・柿 ・サツマイモ ・もみじ	・校庭のきれいな落ち葉を貼っておいたり、いがぐりを見せたりするなど、秋らしいものを教室内の装飾として用意しておく。 ・春夏の様子を比較するために、校庭の春夏の時の写真を用意しておく。
2	【あきの校庭いに出てみよう】 ○校庭の草花や木の実を見付けたり、樹木の様子を見たり、生き物を探したり、それらの様子を観察したりしながら、季節の変化に気付く。 ・夏の葉は緑色が多かったけれど、秋は茶色や赤色が多い。 ・栗が、青っぽかったけど茶色になった。	・気付いたこと、発見したこと、見付けた遊びなどを「はっけんカード」に書くように促し、クラスで共有する。 ◇主① 思①
3	○春や夏の校庭の様子と比較しながら、見付けた秋や自然を使った遊びを紹介し合う。 ・どんぐりごま ・どんぐり転がし ・落ち葉に絵を描く。	

4	<p>【もっとあきをさがしにいこう】</p> <p>○遊び場に出かけ、春や夏から変わったことを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の葉は緑色が多かったけど、秋は茶色や赤色が多い。 ・夏にいたテントウムシやアリがない。 ・落ち葉を踏むと音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見る、聞く、触る、嗅ぐなど、事前に視点を提示しておく。 ・児童が春夏の遊び場と秋の遊び場を比較し、同じものや変わったものを考えることができるようにする。
5	○はっケンカードに見付けたことを書いて紹介する。	◇知①
6	<p>【見つけたあきをじっくり見よう】</p> <p>○葉っぱや木の実などをじっくり観察したり、比べたり、遊んだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉によって色や形が違う。 ・どんぐりによって転がり方が違う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱや木の実を使ったおもちゃ、飾りの作り方のヒントになるような書籍を置いておく。 ・やりたいことをやりタイカードに書くように促す。 ・比べたり、試したり、見立てたりして、工夫して作れるように、葉っぱや木の実の種類を適宜増やしていく。 ・友達のよさを取り入れられるように、作る物が似ている児童でグループを作るようにする。
7	○集めた落ち葉や木の実などを使って遊ぶものや飾るものなどを作るイメージをもつ。	◇知② 思② 主② (図画工作科)
8	<p>【見つけたあきであそんでみよう】</p> <p>○作りたいものを工夫して作る。</p>	
9	・どんぐりごまを作って競争しよう。	
10	・かわいい入れ物を作ろう。	
11	○友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして作品を作り、楽しく遊ぶ。	
12	<p>【みんなであそぼう】</p> <p>○みんなで協力して秋祭りの準備をし、楽しく遊ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しめるように役割を決め、相手に楽しんでもらうことを考えて準備を進めるように伝える。
13	・コーナーごとの看板をつくるね。	◇知③ 思③ 主③
14	・ぼくは、坂道を準備するよ。	
15	○活動を振り返り、楽しかったこと、気付いたことを学習カードまとめる。	
	・みんなで助け合って楽しく遊べてよかった。	
	・次は、冬祭りもしたいなあ。	

5 本時（6/15）1年1組

(1) 目標

秋の自然物を調べたり、比べたりしながら、秋の自然物を使った遊びをしたり、遊びに使うものをつくったりすることができるようにする。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導入 5分	<p>○前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りがギザギザしている葉と、してない葉があった。 ・どんぐりは、様々な種類があった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">みつけたあきで、あそぼう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の様子に気付かせるために、落ち葉やどんぐりの大きさ、形、色など多様な視点から捉えることができるようにする。 ・拾ってきた物にひと手間加えることで、遊びになることを気付くことができるように、どんぐりごまを提示する。
展開 30分	<p>○葉っぱや木の実をじっくり観察したり、比べたり、遊んだりする。</p> <p>《坂道コーナー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく転がるどんぐりがあったよ。 ・転がすゲームができそう。 <p>《入れ物コーナー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルにどんぐりをたくさん入れると、マラカスになるよ。 <p>《天秤コーナー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こっちのどんぐりの方が重いね。 ・葉は軽いものが多いね。 <p>《スタンプコーナー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の線が写せたよ。 ・イチョウの葉を2つ繋げてチョウチョができたよ。 <p>《工作コーナー》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりに紐を通して、ネックレスにしたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの多様性に気付くことができるようにするため、複数のコーナーを設ける。 ・葉っぱや木の実を使ったおもちゃ、飾りの作り方のヒントになるような書籍を置いておく。 ・児童の発言を拾うために、「～で、～を作りました（やりました）。」などと、自由に発言するためのビデオカメラを設置しておく。 ・必要に応じて、見付けたことを友達と伝え合う時間を設定する。 <p>◇思②（秋の自然物を観察したり、比べたりすることで、何かしらの遊びや、遊びに使うものを作っている。）（観察・発言）</p>
まとめ 10分	<p>○本時の振り返りをし、次時にどうしていきたいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりは色々な遊び方ができたよ。 ・箱を使って、どんぐりのシュートゲームを作りたい。 ・葉をたくさん使って、クッションを作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、やりたい遊びや作りたいものをやりタイカードに書かせる。

5 本時（7/15）1年2組

(1) 目標

秋の自然物を比べたり、試したり、見立てたりしながら、秋の物を使ったおもちゃや遊びに使うものを工夫してつくることができるようにする。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導入 5分	○前時の「やりタイカード」で出した作りたいものを振り返り、本時のめあてを確認する。 たのしくあそべるものを、くふうしてつくろう。	・前時で使ったものや見本、「やりタイカード」を提示し、つくるもののイメージがしやすいようにする。
展開 30分	○自分が考えたものを作っていく。 ・この前の入れ物を使ってみよう。 ・色々などんぐりごまを作ってみよう。 ・よく回るこまにするためにはどのどんぐりがいいかな。 ・どんぐりが転がるから道や長さを難しくしたり変えたりしたら面白そうだ。 ・上手くできないのはどうしたらいいだろうか。 ・どんぐり迷路にはどっちのどんぐりがいいかな。 ・○○さんの作ったツリーが綺麗だな、どうやったのだろう。わたしも作りたい。 ・△△さんのと合わせてみたい。 ○協力して片付けをする。	・児童が試したり修正したりしながら繰り返して作っていくようにする。 ・互いの活動が見られる場や遊びを試せる場を用意したり、関連する本を置いたりして、多様な考えをもちやすくする。 ・友達と関わられるように、類似のもの（飾り、楽器等）の材料の配置を近くにしたり、教え合いながらも良いことを伝えたりする。 ・よい工夫をしている児童は全体に紹介し、作業が進まない児童には材料を変えたり、友達の工夫を参考にしたりするよう助言する。 ◇思②（何度も試したり、改善したり、友達のものを参考にしたりしながら作っている。） （観察・作品）
まとめ 10分	○本時を振り返り、次時にしたいことを考える。 ・上手くできなかったから次も作りたい。 ・○○さんが面白そうだったから、同じのしてみたい。 ・友達と一緒に作ると面白くなりそうだから一緒に作っていききたい。	・上手くいったことやいかなかったこと、友達との交流等で気付いたことを共有し、次回どのように作業していきたいかを確認する。

5 本時（8/15）1年3組

(1) 目標

友達の良いところを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、秋の遊びを楽しくしようとしている。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導入 5分	○本時のめあてを確認する。 おもちゃやかざりをパワーアップさせて、ともだちとたのしもう。 ・どんぐりゴマがもっとよく回るようにしたい。 ・飾りをもっとつけて、かわいくしたい。	・本時でやりたいことを前時に決めておく。 ・本時の学習でしたいことを確かめ見通しをもてるようにするとともに、学習計画を掲示し、単元のゴールを見えるようにする。
展開 35分	○おもちゃや飾りなどをつくる。 ・どんぐりの大きさを変えてみよう。 ・飾りをつけてかわいくしたいな。 ・左右違うどんぐりをつけたら面白そうだな。 ・紐の長さを変えて、難しいけん玉を作ろう。 ・一緒にやってみようよ。 ・私の方がもっと長く回るよ。 ・何回連続で入るかな。 ・みんなのを並べたら、お店みたいになったよ。	・同じまたは似ている作品を作っている児童同士でグループを作る。 ・作品作りで困っている児童や簡単に作り上げてしまう児童には、友達の作品や参考資料を見せるようにする。 ・児童の発言を拾うために、「～で、～を作りました（やりました）。」などと、自由に発言するためのビデオカメラを設置しておく。 ・試したり、友達と遊んだりできる場を作る。 ◇主②（友達の良いところを取り入れたり、自分との違いに気付いたりしながら、作ったり遊んだりしようとしている。） （観察・作品）
まとめ 5分	○本時を振り返り、次時のめあてを考える。 ・できたもので遊ぶと楽しかった。次も楽しみな。 ・次は、飾りをもっとつけたい。	・振り返りをし、児童が気付いたことを共有したり、次回したいことを確認したりすることができるようにする。